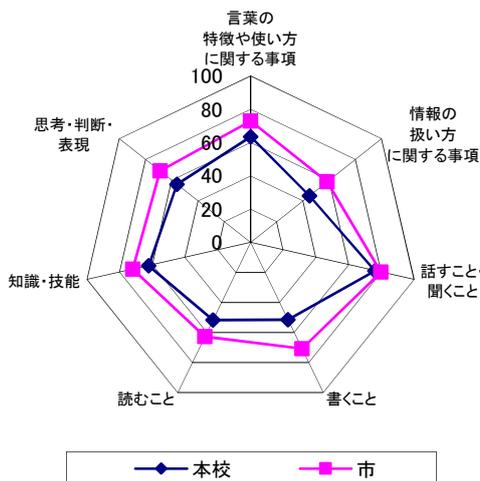


# 宇都宮市立田原西小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	63.6	73.0	75.5
	情報の扱い方に関する事項	44.9	58.5	59.0
	話すこと・聞くこと	76.1	79.8	75.9
	書くこと	51.5	70.7	71.7
	読むこと	51.6	62.8	62.5
観点別	知識・技能	62.3	72.0	74.4
	思考・判断・表現	56.2	69.0	68.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の平均を下回った。</li> <li>○6年生の漢字は市とほぼ同等で、定着しているといえる。</li> <li>●5年生の漢字が定着していない。学習したばかりの漢字やよく使う漢字は理解しているが、使うことが少ない漢字が定着率が良くない。</li> <li>●敬語(尊敬・謙譲)の使い方が身に付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの教科でも、文章を書くときは、習った漢字を使うことを徹底する。</li> <li>・漢字については、定期的な漢字復習テストを行ったり、朝学や宿題で繰り返したり、方法を工夫して定着を図る。</li> <li>・敬語の大切さを改めて伝え、日常生活の中で使う習慣をつける。</li> <li>・国語辞典で分からない言葉を調べる習慣を身に付け</li> </ul>
情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の平均を大きく下回った。</li> <li>○情報と情報の関係について理解し、41%が資料から必要な情報を探して、報告する文章をまとめて書くことができた。</li> <li>●25.6%は必要な情報が読み取れなかったり、読み取れても指定字数で書けなかった。</li> <li>●多くの資料を読むのが難しく、25.6%が無回答だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語だけに限らず、社会や総合的な学習の時間などで資料から分かることを文章でまとめる学習を繰り返す。</li> <li>・他教科と関連付け、グラフから読み取れること、写真から分かることなどを自分で文章に書く経験を積む。</li> <li>・数種類の資料を読み、その中から必要な情報だけを選び取る学習を朝学などで行う。</li> </ul>
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の平均と同等だった。</li> <li>○話し合いで話の内容を明確にするための話し手の工夫や、考えをまとめるための司会者の工夫を捉えることができ、やや市を下回るがほぼ同等だった。</li> <li>●互いの立場を明確にしなが、計画的に話し合い、考えをまとめる問題ができていない。指定された条件に合わせて記述することが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語に限らず、各教科で話し合い活動の機会を多くし、司会者や発言者の役割を意識して話し合うような指導を行う。</li> <li>・様々な教科で友達のスピーチや教師の話聞いて、要旨をメモしたり短くまとめたりする活動を積極的に行う。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の平均を大きく下回った。</li> <li>○考えを明確に伝えるための記述の工夫は捉えることができ、市の平均と同等である。</li> <li>○指定された条件に合わせて文章を書く問題では、自分の意見とその理由を明確に書くことができていない。</li> <li>●指定された長さで文章を書く、2段落構成で書く、賛成しない意見への反論を書くなどの記述が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語に限らず、様々な場面で、理由や事例を挙げて文章を書く指導を行う。</li> <li>・各教科で文字数や段落の数などの条件を指定して文章を書く活動を、日頃から取り入れる。</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の平均を下回った。</li> <li>○説明的文章では文章全体の構成を捉えることができ、市の平均と同等である。</li> <li>●物語文の読み取りでは、登場人物の様子や心情について、描写を基に捉えることが難しい。</li> <li>●物語の文章で、描写による表現の工夫を捉えるのが難しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説明文では、指示語や接続語に注意して、筆者の考えやその理由を読み取る指導を引き続き行っていく。</li> <li>・物語文では、心情の読み取りだけでなく、全体の背景や生き様などを読み取る指導を行っていく。</li> <li>・物語文の文章の構成や表現の工夫にも目を向けて指導をする。</li> </ul>

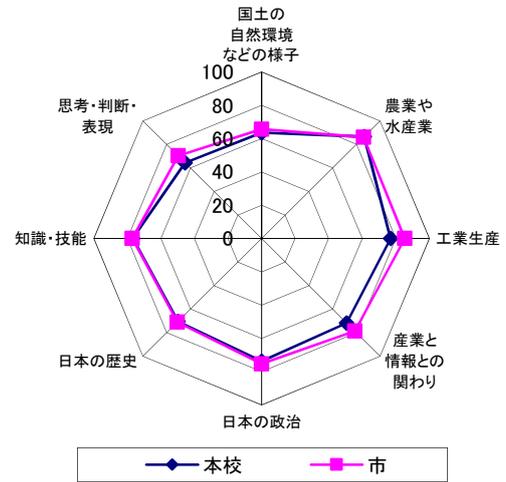
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

# 宇都宮市立田原西小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	63.6	65.7	67.0
	農業や水産業	86.5	86.1	77.5
	工業生産	76.9	85.4	76.7
	産業と情報との関わり	71.8	78.6	69.6
	日本の政治	73.7	75.2	65.8
	日本の歴史	70.5	71.1	69.1
観点別	知識・技能	76.8	77.0	72.8
	思考・判断・表現	64.4	70.3	64.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

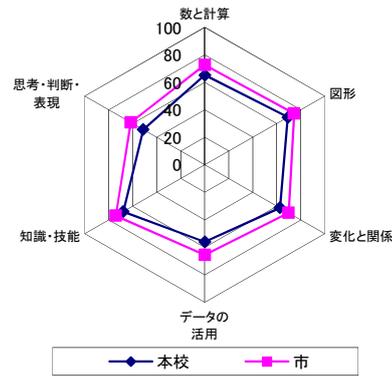
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体としては市の平均を少し下回った。</li> <li>○日本の気候の様子について問う問題では、正答率が市の平均をやや上回った。</li> <li>●日本の海洋名を問う問題では、市の平均回答率を23%下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●授業の中で、日本付近の海洋の名前を定期的に確認し、定着できるようにする。</li> <li>●日本の気候の特徴について、寒い地域や温かい地域、降水量の多い地域や少ない地域など情報が多い学習については、プリントなど利用して復習する。</li> </ul>
農業や水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体としては市の平均を少し上回った。</li> <li>○米づくりの作業について資料を読み取る問題の正答率は、市の平均を14%上回った。</li> <li>●米づくりの生産効率について考えを表現する問題では、市の平均を8%下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●社会的事象などの知識が問われる問題はよくできていたが、資料をもとに考えを表現する問題はできていなかったため、日頃から考えを深める授業をしていく。</li> </ul>
工業生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体としては、市の平均を少し下回った。</li> <li>○87.2%の児童が、工業製品の種類について理解していた。</li> <li>●ガソリンカーと電気自動車を比較して、内容の一部を言葉で表現する問題については、市の平均より11%下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電気自動車など、環境に配慮して生産されたものについてニュースや新聞記事などを紹介し、関心をもたせられるようにしていく。</li> </ul>
産業と情報との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体としては、市の平均を少し下回った。</li> <li>○情報の正しい受け取り方については、87.2%の児童が理解していた。</li> <li>●新聞やテレビでニュースを伝える人々が大切に行っていることについて、共通してあてはまる言葉を答える問題では、市の平均より9%下回っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●様々なメディアの情報発信の特徴について比較しながら学び、共通点や差異点について言葉で表現できるようにさせる。</li> </ul>
日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体としては、市の平均を少し下回った。</li> <li>○国会の働きについての問題の正答率が、市平均を10%上回った。</li> <li>●裁判の仕組みについての問題の正答率が、市の平均の5%下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●映像やスライドなどの補助教材を積極的に活用し、そこから分かることや要点などをまとめる学習を積極的に行う。</li> <li>●ニュースや新聞記事などを紹介し、日本の政治について関心をもたせられるようにする。</li> </ul>
日本の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>●全体としては、市の平均を少し下回ったが、ほぼしの平均と同じだった。</li> <li>○平清盛、御恩・奉公の問題の正答率が市の平均を上回った。</li> <li>●前方後円墳が分布している資料の読み取り問題の正答率が、市の平均を10%下回った。</li> <li>●室町文化の特徴について、文で表現する問題で、10%以上の児童が無回答だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的な知識を身に付けさせるだけでなく、その時代の背景や、社会的な事象から分かることの問題などを、定期的に復習する。</li> <li>●記述式の問題では無回答率が高いため、資料を細かく読み取り、自分の言葉で表現することを積み重ねていくようにしていく。</li> </ul>

# 宇都宮市立田原西小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	65.3	72.6	71.6
	図形	69.2	74.4	72.0
	変化と関係	62.6	69.8	62.6
	データの活用	56.0	65.5	59.1
観点別	知識・技能	67.9	74.1	68.9
	思考・判断・表現	51.3	61.6	63.7

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

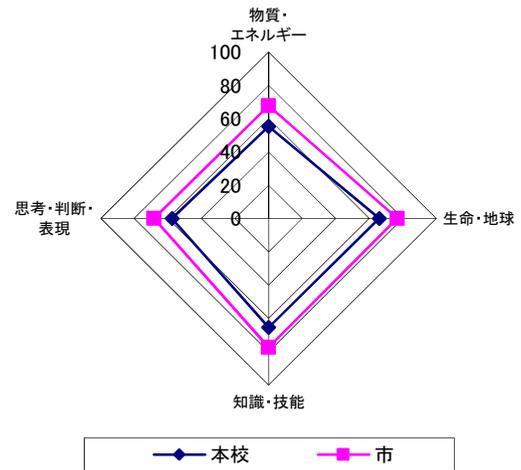
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回った。</li> <li>○小数のかけ算、わり算の計算は、市の平均正答率を上回った。</li> <li>●分数のたし算は市の平均正答率を上回ったが、分数のかけ算、わり算は市の平均正答率を下回った。</li> <li>●テープ図を使って小数倍を求める文章問題や、テープ図から立式する問題については、市の平均正答率を下回った。</li> <li>●分数の除法の文章題に合った図を選択する問題では、市の平均正答率を下回った。</li> <li>●文字の式の問題では、市の平均正答率を下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎基本の計算の仕方は正答率が8割以上であり、おおむね身に付いている。今後も繰り返し練習に取り組み、定着を図る。また、分数の問題では、通分、約分などが確実にできるように練習するとともに、分数のわり算の意味の理解を深めるために面積図に戻って説明するなどして、定着につなげる。</li> <li>「何倍か」を求める問題は、何をもとにして考えるのかを日頃から意識させ、図や数直線に表して立式できるように指導を継続していく。また、2年生のかけ算の学習から、九九を暗唱するだけでなく、かけ算の意味理解が深まるように指導を行う。</li> <li>乗数が1より小さい数の乗法では、積が被乗数より小さくなる感覚を養うため、テープ図等を活用して視覚的に捉えられるように指導を行う。</li> <li>文字を使った式については、低学年の○や□を使って</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回った。</li> <li>○合同な三角形を作図する問題は、市の平均正答率を上回った。</li> <li>○三角柱の展開図の問題は、市の平均正答率を上回った。</li> <li>●台形の面積や直方体を組み合わせた立体の体積を求める問題は、市の平均正答率を下回った。</li> <li>●三角形の外角を求める問題や、正多角形の内角を求める問題は、市の平均正答率を下回った。</li> <li>●点対称や線対称の問題は、市の平均正答率を下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形や四角形の作図は、様々な条件のもとで描けるよう、授業の中で様々な条件を与えて取り組んでいく。</li> <li>図形の面積を求める公式を正しく身に付け、公式を活用して繰り返し問題に取り組むとともに、公式の意味についても丁寧に指導を行う。</li> <li>複合図形の体積を求める問題では、どのように求めるか見通しをもって問題に取り組む、自分の考えに合った補助線を活用できるように習慣づけていく。</li> <li>図形の内角や外角を求める問題では、三角形の内角の和が<math>180^\circ</math>であることの復習を行うとともに、角の大小を見極める感覚を養っていく。</li> <li>線対称と点対称の図形では、それぞれの意味をよく理解できるように指導を行っていく。その際、図形に線を書き込んで考えるなど、具体的な操作をしながら問題を解</li> </ul>
変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回った。</li> <li>●値に0のある数値の平均を求める問題では、市の平均正答率を下回った。</li> <li>●図から面積と人数を調べ、混み具合を求める問題では、市の平均正答率を下回った。</li> <li>●速さを求める問題では、市の平均正答率を下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均の学習をする際には、平均の意味を正しく捉えさせることで、値に0がある問題場面を想起させ、正しく求めることができるようにする。</li> <li>●込み具合や速さなど単位量あたりの大きさを求める問題では、何をもとにして何を比べるのか、数直線に表して立式できるように指導していく。</li> </ul>
データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回った。</li> <li>●データの見方の問題では、市の平均正答率を下回った。</li> <li>●資料を見比べ、関連付けて考える問題は、市の平均正答率を下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>データの見方の問題では、度数分布表についてそれぞれの数値が何を表しているのか理解させるとともに、最頻値、平均値などの算数用語についても正しく身に付くようにしていく。</li> <li>資料を見比べ、関連付けて考える問題は、算数だけでなく他の教科でも積極的に取り入れていく。また、どのように考えるか一つ一つの段階を踏んで思考する経験を多く積ませたり、問われていることを確認するなど、思考</li> </ul>

# 宇都宮市立田原西小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	55.3	67.8	64.1
	生命・地球	66.0	76.7	78.3
観点別	知識・技能	65.4	77.4	78.3
	思考・判断・表現	57.5	68.3	66.2

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回った。</li> <li>○「天気の変化」の台風の接近中の不適切な行動を指摘する設問での正答率が高かった。</li> <li>●「物のとけ方」では、液体と固体を分ける方法をろ過と呼び、正しい操作をすることへ理解に欠けていた。</li> <li>●「物の燃え方」では、ろうそくが最も長く燃え続けるものを推測することが不十分であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験の目的・方法を理解した上で、実験に取り組めるようにする。</li> <li>実験によって、何が分かるのか(実験の目的)を明確にさせながら、実験の意味を理解させながら活動に取り組めるようにしていく。</li> <li>実験結果から、どのように変化したのか、自分の言葉でまとめ、クラスやグループで発表する場を増やす。</li> </ul>
生命・地球	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回った。</li> <li>○「電流のはたらき」の方位磁針の様子から、電磁石の両端の極を推測する設問での正答率が高かった。</li> <li>●「動物のからだのつくりとはたらき」では、植物の体の中の水が葉から水蒸気になって出ていくことへの理解が不十分であった。</li> <li>●「生物とかんきょう」では、葉を日光に当てる前後での、酸素と二酸化炭素の割合の変化への思</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>植物の体のはたらきについて、自分で調べる機会を設け、水が葉から水蒸気になって出ていく仕組みを実験や図で把握する学習を通して、知識・理解の定着を図る。</li> <li>実験の結果から何が分かるのか、自分の考えをまとめる時間を十分に確保し、日光と酸素と二酸化炭素の関係について友達と意見を伝え合うことで、思考力を育てていく。</li> <li>学習のまとめで、基本的な自然事象や用語等を再度学習する。</li> </ul>